

## タウンミーティング（周布地区） 開催報告

- 日 時 令和元年 6 月 22 日（土）午後 2 時から
- 場 所 周布公民館 2 階会議室
- 参加者 周布地区連合自治会長、周布地区連合自治会副会長、周布小学校 PTA 会長、周布地区老人クラブ連合会長、周布地区婦人会長、周布地区体育協会会長、民生児童委員周布地区会長、社会福祉協議会周布地区支部長、周布地区愛護班会長、周布公民館利用者代表、周布こども教室実行委員会委員

市長、経営戦略部長、東予総合支所長、市民協働推進課長、シティブロモーション推進課長

- 傍聴者 8 人
- 次第
  - 1 開会
  - 2 挨拶（周布地区連合自治会長）
  - 3 挨拶（市長）
  - 4 参加者自己紹介
  - 5 市の主要事業について《市提案》
    - (1) 主要事業の説明（市長）
  - 6 地域課題①「これからの地域づくり」について《市提案》
    - (1) 課題等の経緯等内容説明
    - (2) 意見交換
  - 7 地域課題②「周布の良さを広める取り組み」について《地域提案》
    - (1) 地域からの提案説明
    - (2) 意見交換
  - 8 その他
  - 9 まとめ・閉会
    - (1) まとめ（市長）
    - (2) 挨拶（周布地区連合自治会長）

### ○会議録

#### 1 挨拶

##### 【周布地区連合自治会長】

こんにちは。今日は周布公民館の協力委員会の皆様には日頃よりお世話になっている周布地区の活性化に貢献頂きたい。よろしく願います。日頃のご協力に感謝申し上げます。

この度、西条市長が市政を報告し、また、地域の課題や、各団体での問題、要望などについての意見交換を行う初めてのタウンミーティングを行うこととなった。皆さん既に説明するまでもなく地元に住んでおられるのでわかると思うが、地区の問題、大局的なテーマについて深めていくというかたちであるが、この周布地区は、割と広い地域で予讃線路から丹原まで、2 km 以上から標高は線路の 3m からこの公民館が標高 10m くらいの穏やかな平坦地にある。

歴史も古く、久枝の遺跡、横田、貝田等あちこちに弥生時代から古墳時代に至る遺跡も数多くある。

昔から人が住んでいる田園地帯で、災害が少ない住みやすい穏やかな地域である。

私の子どもの頃は、水といえば川がその辺から湧いており、崩口川とか大曲川とか色々な川が流れていた。それもほとんど泉となって湧き出していた川である。飲み水も地下水をポンプで汲んで飲んでいて。この 1 週間くらい前に私の家でも、今年雨が降らなかったせいで、鉄錆びの赤水が出て、水位が 1m50 cm くらい下がっているという状態で、上水道に切り替えなければならない業者に頼んでいる。

3 月に地下水シンポジウムが西条市長のきもいりでスタートし、研究発表があった。旧西条市の市塚や朔日市など、沿岸部の方では、塩水も混じっており、大明神川の河口の方では、

硝酸銀とかマグネシウムなど微小な金属、残留物が出ているという報告もあった。

割と水は安全で日頃から飲んでいるが、安全について注意をすることも必要になってきていることに気づいた。

現在周布地区は、下水道がほとんど普及していないが、水を守る為にも、家庭排水を合併浄化槽にするなどの取り組みも進めることが大事ではないか。

高速インターが出来てから、大型店舗や飲食店、病院などが出来て非常に日常生活が便利になった。

もっと安全で便利、暮らしやすい魅力ある周布地区にするためには、住む人を増やしていく、移住も増やしていくことも大事だ。

子どもや若い人に周布の良さを知ってもらい取り組みも必要である。老健施設、介護施設とか保育所、小学校など、人が集まるような地域になればいいと思う。

行きたくなるような周布、住みたくなるような周布にするために、また隣り合う丹原町や小松町からも近いこの周布地区に、人が集まる施設も必要ではないか。

最近、全国的に高齢者による交通事故、子どもを巻き込む事故がたくさん発生している。地区内でも交差点での早回り、一時停止をしないなど見受けられ、出会うたびにヒヤッとすることがある。万一の事故や災害に備えて、子どもを持つ若いお母さん方を始め住民の多くが、救命講習などを受講することで、防災対策の向上にも繋がると思う。

事故を無くすため通学路の在り方や、空き家・ブロック塀等、建築構造物の所有責任の再確認、あるいは防犯カメラの設置を進めていくなども非常に大事になってきている。

様々なことがあると思うが、より良い周布地区を目指し、活動ができるよう会議が進むことを期待して、開会の挨拶とする。

#### 【市長】

皆さんこんにちは。

本当にお集まりを頂き、感謝申し上げます。

このタウンミーティング、もう少し早くスタートしたかったが、前青野市長が取り組まれていたやり方を少し変え、テーマを少し絞った。職員がぞろぞろ出ていくのもどうかと思い、少しでも皆さんの希望、要望が予算に反映するにはどうしていけば良いか、そして、「あの時出て行って良かった。意見を言って良かった。」そんな風に言って貰えるように、先ほど会長が言ったとおりその先には「ここに住んで良かった。」と言って貰えるようなまちになればなどこのように思っている。

周布小学校の卒業式の時に、私は、こんな可愛い子どもたちが、夢をしっかりと語れることに涙をしてしまった。これは親や地域が暖かく子どもたちを育てているのかと思い、非常に感銘を受けた。

この後説明させて頂くが、今、我々が、全て皆さんの希望通り叶えられるならば、それに越したことはないが、財政状況や、様々すべてをやる事が出来なくなり、政策についてのあれもこれもから、あれかこれかへというようなこと、あるいは、今までは住民の皆様にも小負担で高福祉だったのだけれども、少し中負担、中福祉というやり方をしなくては、孫たちの世代で非常に苦勞することになるので、これからの西条市は、少し皆さんに負担を強いるケースもあるが、なんとか持続可能なまちづくりにしていこうという取り組みをスタートさせていく。

これから私どもが皆さんと一緒に協働のまちづくりをしていく、この姿がこれからの西条の姿なのだろうと思う。

また課題の提起もさせて頂くが、限られた時間ではあるが、有意義な時間にしていきたいと思っているので、お付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

## 2 市の主要事業について

### (1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料 (1))

## 3 地域課題①「これからの地域づくり」について

【市民協働推進課長】（参照別紙資料（2））

4 地域課題②「周布の良さを広める取り組み」について

（1）地域からの提案説明

【周布地区連合自治会長】

地域課題というかたちで、5月に各団体の方に課題と要望を提出頂くようお願いしていたが、現在までのところあまり出てきていない。

周布地区は、穏やかな地域なので差し迫って困難なことや、行き詰ったことが頭の中にないのかもしれない。実際は気づいてないだけなのかもしれない。

なので、資料として提出するテーマがなかったが、先ほど開会あいさつで私が話した中で、その住みやすい周布地区の良さを広めていって、人口は確かに減っていくし、高齢の人はだんだん亡くなっていく、もう目にみえているが、増やす手立ても考えたらいいんじゃないかと思う。やはり山間部の人や、不便なところ、あるいはその田舎に憧れている人、外国の人、いろんな人がいると思う。そういう違うところにも目を向けて、周布の良さを広めていくことが将来的にはいいんじゃないかと、個人的に思う。

「周布の良さを広める」ということを今回のテーマにさせて頂きたいと思う。

今後の地域づくりというかたちでどのようにしていくのか、この良さがほんとにいいのか悪いのかというのも判断が分かれると思うが、その辺のところ今住んで居る地域のところから話を進めていって頂いたらと思う。

皆さんのご意見をよろしく願います。

（2）意見交換

【司会】

会長から本日の地域課題②「周布の良さを広める取り組み」について提案の説明があったが、どなたからでも意見があれば、手を挙げて頂きたい。

【市長】

周布は良いところだ。

【参加者】

周布は、本当にいい地区である。

交通の便も高速のインターチェンジがそこにあり、大きなスーパーなどもある。周布は周布地区と吉田地区と2つに分かれており、周布地区は発展している地域で、他からの移住者も周布地区では増えているが、吉田地区はちょっと移住者が少ないと思う。

【市長】

子どもたちの数は問題あるのか。

【参加者】

子どもたちの数は減っている感じはない。

結構、少子化少子化って言うが、僕の周りでは、子どもが3、4人いたりするところが多いので、少子化というのが、あまり実感が湧かない。

課題、テーマ等言われても、正直自分のことで手一杯だ。子どもが4人おり、なかなか自分のところで食べていくのも精一杯な状態である。

僕はもともと今治出身だが、奥さんが吉井出身で土地を探していたらこの周布にいいところがあり、住んで13年くらいになる。

今、40過ぎて、今更仕事を変えて、ここで働くと言われても家も持っており、子どもも多いのでなかなか難しいところである。

今は、なかなか課題と言っても難しいところがある。

【市長】

データによると周布地区は、消滅可能性地域になっていたが、どうか。

【参加者】

今、人も増えていると思う。新しい人も来ているので、結局はその新しく入った人たちが、地域づくりにいかに参加してくれるかというのが一番大事なのではないか。僕の家の近くに

コーポが建ったが、コーポの人たちはちょっと一歩引いたような感じがあるので、せめて僕は会ったら挨拶をしたり、大きい犬を飼っているのをそれを話題に話したりはするが、やはりああいう他のところから来た人をいかに自治会なり地区に馴染んで貰うかが一番大事だと思うので、その人たちがマンションなりコーポなりに住んでみてここはいいなと思ったら、今は周布にも土地があるので造成しているところに家を建てたり、そのまま住んで小学校も周布又は吉井に行ってくれると思う。

去年地区の班長をしていたが、ちょうどその地区の旅行の年で、27世帯中、結局10世帯集まらなかった。旅行の計画をたてるのに、高齢の方も多くなるべく負担がかからないように、今まで行ったことのないところにも行って頂くよう計画したが、なかなか来てもらえなかった。そういう新しく入ってきた人と元々そこに住んでいる人たちとのコミュニケーションなど、一緒に何かしていくことが大事なのではないかと去年班長をしていて感じた。

【参加者】

私も老人会の世話をしており約80年近くここにずっとこの周布地区にいる。本当に周布は恵まれた土地で何不自由ない。水害や災害も無い。それが幸いして人間が穏やかすぎる。

公共下水、幹線道路はついているが、支線につく計画はあるのか。そこらあたりをお話してもらいたい。

【市長】

それはこの後で、「その他」の時に答える。

【参加者】

私は、高齢者と接するお仕事をさせて貰っているが、周布も吉田も高齢化というのはかなりのものと思う。そういう中で高齢者は色々問題があり、一人暮らしで子どもがいても遠方なので、ほったらかしになっている。いろんな家族がいるのを目にしている。

山沿いの方がそういう世帯の方が多いと把握はしているが、山沿いの高齢者も、もっと安心して、楽しく過ごしていけるような地域になったらもっといいと思う。

その為に、現役を引退された方、今でいう団塊の世代の方達の力が各個人というか家庭に入っていくことが出来たら、もう少し高齢者の不安や孤独が少しでも軽減されるのではないかな。

どういふ風にしたらよいか事業所でも話すが、現役を退いた少し若い世代で、まだあまり年齢のいってない元気な方がまだ沢山いると思うので、そういう方の力がもっとあればいいのではないかなという話は出たりする。

【参加者】

なりたてでまだわからないので、今から勉強させていただく。

【参加者】

独居の方たちがほとんどデイサービスや在宅介護だけの生活になっている。周布も新しい人たちがどんどん家を建てて、仕事をされているが、その交流が何かあればと思う。

デイサービスに行っても年代が一緒なので、若い人、子どもたちとの交流の場がない。地域の子どもたちと一人暮らしの方や一人暮らしでなくても高齢家族の方とが交流できることがあればと思う。そういう意識を持っていたら何かの時に楽しく笑えたりする声が聞こえるのではないかなと思う。

今、一人で住んでいる人が可哀想という気がする。

行って元気な顔は見るが、いい話題がない。行っても話がないとか、何曜日にはデイに行つて、何曜日にはケアマネさんが来てくれたなどそんな話ばかり。

お一人で亡くなった場にも出くわした。何か方法はと思つても、全部カギを閉めている状態なので私たちがそれ以上、入れない。

近所の人にも話を聞くけど、交流もないので、その辺が一番悩んでいるというか・・・。

子どもたちとの交流がもう少し欲しいなと思う。

【参加者】

45年くらい前に今治からここ周布に来て、ここで3人の子どもの育て、子育てが終わった時にふとこの周布地区に何かお返しできないかなと思った。その時に、小学校と関わってほしいと思い、小学校の本読みや夕方の子どもと一緒に遊ぶことや、土曜日に公民館ですること

などを始め、20年近くやっている。

今は、市の計画されている子ども教室と一緒に進んでいるが、周布の特徴は地域の方が大人しい。しかし、声をかけたらいくらでも一緒に働いてくれる。そんな人たちに恵まれて、学校で2年前から始めた月1回の草引きにしても、人がだんだんと増えてくる。それと14年か15年位、学校へ月に1回か2回遊びにきてくれているお年寄りも来るのをやめない。人を次補充しなくても皆やめない。それは地域性というか自分から進んでは出来ないが、声をかけて一緒にやろうと言ったら、どんどん元気なお年寄りが出てくる。

ずっと色んなことをしてきて思うが、自分から積極的に出ないが声を掛けたらいくらでも一緒にする人が多いということは、公民館が今は拠点になり、小学校の校長先生や、公民館の代々の館長さん、主事さんにも本当に恵まれてきたので、好きな事をやってくることができた。同じようにボランティアをしている仲間によると、西条の他の地域では協力をそのようにしてくれなく、公民館が冷たいという所もある。それが無い周布はすごくいいと思う。私の夢だが、どこかお年寄りが日向ぼっこ替わりに出てきて、集まれる場所。例えば、公民館みたいなもう少し皆が気楽に来ることができる場所が必要。月に一回、公民館で「おいでや公民館」ってお年寄りが勝手に来てお茶を飲んで手芸したりする事を始めているが、家で一人で寂しい人が寄って来ている。そういう人が寄ってきやすい場所づくりが出来たら、それが学校の子もたちと触れ合う機会になればいい。

市が目指している、地域で行う自治のなかに、そういう事を地域のお世話役で、若い人の方がいいが、そういった人達をどんどん導入して、地域の人を活用して頂いて、本当に周布の特徴を考えて、自分からでしゃばる人は私位で、ほんとにいない。皆大人しい。だからそういう人たちが働きやすい環境を作って頂いたらと思う。

#### 【参加者】

子どもが今忙しいので何か企画しても、出てくる人が限られており、毎回同じような人しかでてこないというのが多い。その辺をみんなで作出来たらいいのと思う。

#### 【参加者】

老人クラブなどで活動しているが、高齢者高齢者って肩身が狭い思いがする。高齢者の中にも元気でいくらでも色々活動できる人は多いし、周布は公民館や社協などが、「老人クラブで昔の遊びをして下さい」、「年末にはしめ縄作りを一緒にしましょう」、「おたのめさんを小学校と一緒にしましょう」など色々声をかけている。私たちも元気が余っている人いっぱいおり、公民館等も大いに色々言って頂いて、老人クラブもだが、社会福祉協議会の生き生きサロンはもう10年位になると思うが、周布はものすごく沢山あったと思う。今減ってきており、私たちも大勢のお年寄りが家に引きこもりのないように、他の人も誘って、生き生きサロンから色々出会いの場や、周布公民館の花の植え替えなどもしている。気持ちよく公民館等が協力してくれて、花を買うなど色々している。

それが周布の素晴らしいところだと思う。これからもよろしくお願ひしたい。

#### 【参加者】

周布の子ども教室でお世話になっている。

声をかけてくれれば、どこへでも動くたちで、一人や、自分からはなかなかできない。しかし、声をかけてくれれば、動く。そして仲良く色んなことを始められ、長続きする。そう言った感じですごく協力的なところである。

婦人会でも去年まで会長をしていた。今は85歳以上の方に声掛け訪問をして、以前は配食サービスをしていたが、保健所の関係もあり出来なくなった。社協からしていただき、声掛け訪問で色々、お茶やお饅頭の時もあったり、ティッシュやトイレットペーパー等の消耗品の場合もあったり、年に2回届けている。

一応手渡しが原則なので、声をかけてお元気ですかと挨拶しているが、みなさん喜ぶので、続けていきたいと思う。

#### 【市長】

本当に、聞けば聞くほど周布は良いなと思った。

丹原の久妙寺は鯉のぼりがどんどん上がっている。久妙寺の娘さんが旦那さんを連れて帰ってくる。そういったことで鯉のぼりがどんどん上がっていくような地区になっている。

田舎が良いよと連れて帰って来る時に、ポイントは持ち家である。家を建てるか建てないか、そこが鍵だと思う。行政が利子補給するから西条市に持ち家を建てる時に少し安くしてくれないかと今、銀行側に投げかけている。持ち家を持たず、こうすれば言葉は悪いが逃げず、そこにとどまる。こういった住宅の持ち家制度を考えられないかなと銀行と話しをしている。

問題は高齢者への対応で、先ほどから皆さんも言っているように、公民館を談話室にしていきたいと思う。公民館に行けば閉じこもるのではなくて、笑い、あるいは話ができる。

公民館の建て替えについてはご要望を頂いたりしているが、西条市全体でみているので順番があるが、公民館の建て替えの際にはそういった温もりがあり、出てきやすいような環境整備をしていくことが良いと思う。

少し乱暴な言い方をすると、東予総合支所の機能は落としていって良いと思っている。その代わり公民館の機能が上がっていくように持っていきたいなと私は考えている。先程から言われているようなことについてはそういう対応になるようにしていきたいと思う。

そういったなかで一つだけネックになるのが、「現役世代」が上がっていくこと。60の定年が65になるかもしれない。以前、会社の定年は55歳だったこともあるが、今60になりこれが62、65になっていく。退職した時に「俺もうゆっくりしたいわ」と言われたら、なり手がなくなるってということもある。そういったことも考えながら、公民館の在り方というのを今、どういう風にしていくかが課題である。橋では、ひとを地域で雇い、お世話役をつける。だからこれから公民館も地域のサポーターみたいな役割を担う方をはりつけようとしていく。

先ほどご紹介させて頂いた地域自治組織も、そういう皆さんの思いがそのまま入り込めば、良い地域自治組織になり、そしてそれぞれ課題があればそれを皆がカバーしていくという、本当に優しい周布の皆さんの気質を活用出来るのではないかと考えている。声かけやすい人がどんどん声をかけてくれたら、その中でも充実していくような気もしたので、ぜひとも地域自治組織に名乗りを上げて頂きたい。

公民館活動の中で、また少しチャレンジをして、この周布公民館を中心に地区の在り様を、課題がないようにして、そして他からどんどん周布に入って来て貰うということで、可能性があるのではないかな。

実は消滅地域という増田レポートがあり、松山と新居浜と西条は消滅可能性地域ではないとあげて頂いたが、その計算式を西条市に置き換えたら、実は周布は消滅可能性地域になる。

丹原校区や吉井地区は残る。

これは子どもたちのピラミッドを推計していくもので、今の人口分布をそういったかたちで子どもたちが何十年後、何年後になっていくと、こちらの方に移り住んでもらうとか帰ってきて貰うことをしていかないと、この低層をかえることができない。そうならないようにしていくために考えていったら良いと思う。とにかく気質が良い土壌で災害も心配がないということ、アピールしていく。移住促進で、空き家がもしあれば、空き家バンクに登録して頂く、市のホームページから紹介していく。商売抜きでやっていくので、そういったところで安心、その看板が行政だったりすると人が入りやすい。そういったところで空き家があったら、空き家バンクに登録して頂きたい。田舎暮らしをしたい人はそんなにいい家が欲しいわけではない。古民家が欲しかったりするんで、こちらの方にして頂くと人口の減少が敦化するというかたちになる。

周布の良さを、西条市内だけに知らせるのではなく、市外に発信しなければならないので、広報誌などのツールを使いながら情報発信を行政としては、しっかりやっていかなくてはならないと思う。

#### 【参加者】

みんな周布がいいところだと言ってくれてありがたいが、日本中住めば都でどこでも愛着があると思う。

西条の中でも特に周布はいいと思っている。日本の中でも瀬戸内はいいそんな風に誰にでも言える地域だと思う。

いいことはやはり口コミで広げて、あそこに土地があるとか空き家を安値で貸してくれる

等、住みやすい家をみんなが使って本当に定着してくれたらもっと人口が増えていくと思う。

それとここは仕事が少ない。しかし、ベッドタウンと割り切って、勤めは新居浜でも三島でも今治でも松山でも高速使えばすぐであり、下道を使っても三島まで1時間くらいでいけるので通勤可能な距離である。少し発想を変えてベッドタウンにして市長が言うように持ち家を建てたら、固定資産税や住民税といった税収も入ってくる。それが市の財政の活発化にもなり、また地元には何かの支援もして頂けると思うので、その良さを広めていくような会議や、団体名を作っていたらどうかと思った。

【市長】

カップル誕生を目指してイベントをやったら、ひと組誕生した。

うちの職員でしたけれど。

今、戦略的に松山の女性をこちらに引っ張ってくるのができないかということで、松山が西条を意識しているかどうか調査をしてシンクタンク的に研究をさせたが、統計上ターゲットとして西条に住みたい人が4,000人位いる。そこをいかにこちらに持っていかかということで、こども子育てという課でイベントを三回くらいやってみた。まずはそういう出会いの場をつくることでやっていきたいと思っている。

今日シティプロモーション推進課長がきているが、西条はこういうところということを中心に発信していくことで、田舎暮らしのことも含めて子育て世代あるいは若者世代にむけて、良い情報をマスコミを通じて発信していきたいなどと思っている。これは戦略的にいきたいと思っております。ありがとうございました。

## 5 その他（地区における課題及び要望に対する回答）

【市長】

下水道について、今、丹原の徳能のことで、今工事に入っているが、計画時はよかったが、今は高齢になり、管路が出来てもそこまで迎えに行く工事費を払うことができなくて困っているという話が出てきている。当初計画だったところを全部完了させるには20年かかる。これ以上の枠を拡大することは難しい。

周布地域がどうかは資料が無いので、これはまた所管課から回答するが、合併浄化槽の方で少し浄化槽検査料を払えないということで、1万円を付与しようと対策しているが、まだまだ追いついていないのが現状だということは認識している。

良し悪しが色々あると思う。

【シティプロモーション推進課】（参照別紙資料）

## 6 まとめ・閉会

【周布地区連合自治会長】

予定時間30分だったが、10分少々オーバーして活発な初めての会議になって良かったと思う。

今日はお忙しい中、ご参加いただき感謝申し上げます。

今後とも周布が発展していくように、また話し合いが続けていけたらと思う。

それぞれの団体に帰り今日の内容を伝えて貰って、またそれらの意見や要望が反映されることを期待している。よろしくお願ひしたい。

今日は感謝申し上げます。

【市長】

本当に周布地区がアットホームで、良い場所だということ、改めて認識した。

しかし、今日お集まりの皆さんが、そういうことを次の世代にしっかり引き継がれるかどうか、また、持続可能なまちづくりのためには必要だとこのように考えている。皆さんの弟子を作っていただかないといけない。そのためには皆で話し合いながら、この地域の課題をあるいはこの地域をどうするかということ、話し合うことが基本にあると思っている。

今までは行政サービスに特化した形だったが、行政としてもしっかりサポートをしていきたいと思っている。連合自治会長からのご意見も含めて皆さんからのご意見を頂き、より良

い周布地区にしていきたいと思っているので、引き続きよろしく願います。  
そのためにも、公民館の在り様というのが問われることも再認識させていただいた。  
どうか引き続きよろしく願い申し上げたい。  
本日は感謝申し上げます。

(閉会)

〈タウンミーティングの様子〉

